

議会

鳴門市議会だより

発行／鳴門市議会
TEL.088-684-1234 FAX.088-684-0814
編集／議会だより編集委員会
発刊／2009年9月1日

No. **68**

鳴門市議会だより



大阪市で開催された全国競艇主催地議会協議会定期総会の模様

2 第2回定例会の主な審査状況
第2回定例会の提出議案と議決結果について
請願の処理
第1回臨時会(5月29日)
第2回臨時会(7月29日)

3~7

一般質問

- 代表質問 ● 輝代表 …… 宮崎 光明
● 郷土代表 …… 東 正昇
● 新みらい代表 …… 林 勝義
● 優志会代表 …… 榎原 幸告
● 公明党代表 …… 山本 秀
- 個人質問 ● 佐藤 絹子 ● 泉 理彦
● 田渕 豊 ● 秋岡 芳郎
● 池田 正恵 ● 大石美智子
● 川田 達司

視察報告

- 総務委員会 ● 教育民生委員会 ● 産業建設委員会

8 第3回定例会日程
インターネット中継をご覧くださいには
吉田忠志鳴門市長ご逝去

全国競艇主催地議会協議会の新会長に就任

去る6月25日、大阪市で開催された全国競艇主催地議会協議会第113回定期総会において、鳴門市議会議長が新会長に選出されました。

本協議会は、全国の24競艇場38議会が連携協調し、モーターボート競走法の制度や運営に関する調査研究を通して、競艇の興隆発展を図ることを目的としています。

議会基本条例の制定に向けて

地方分権の進展に伴い、地方議会の役割がますます重要視されるようになった現在、全国的に議会運営の基本原則を定めた議会基本条例が制定されつつあります。

鳴門市議会では、昨年度より議会基本条例プロジェクトチームを立ち上げ、議会運営のあり方に関する調査研究や条例素案の策定に取り組んできました。現在、プロジェクトチームからの答申を受け、議会運営委員会において策定作業を継続しています。

第二回定例会の主な審査状況

6月5日(金) 第二回定例会開会

- 市長の所信が表明され、鳴門市国民健康保険条例の一部改正案など4議案、報告4件が提出されました。
予算決算委員会を開催し、平成20年度各会計の繰越明許に係る繰越額の確定など4件について報告を受けました。
また、市総合計画に掲げる重要施策について向こう3カ年の具体的施策・事業を示した総合計画実施計画、平成21年度の国民健康保険料確定額などについて調査しました。
6月11日(木) 一般質問
5会派代表による代表質問を行いました。
6月12日(金) 一般質問
4名の議員による個人質問を行いました。
6月15日(月) 一般質問
3名の議員による個人質問を行いました。
市長から市の緊急雇用対策事業を実施するための平成21年度一般会計補正予算案など2議案、報告1件が追加提出されました。
予算決算委員会を開催し、補正予算案に係る緊急雇用対策事業の内容や事業額、雇用者数などについて審査を行った結果、これを可決すべきと決しました。

6月16日(火) 総務委員会

- 付託された2議案について審査を行った結果、いずれも可決すべきと決しました。
JR不採用問題の早期解決を求める意見書採択に関する請願書について請願人を参考人として招致し、審査を行った結果、不採択とすべきと決しました。

6月17日(水) 教育民生委員会

- 付託された鳴門市国民健康保険条例の一部改正案について審査を行った結果、これを可決すべきと決しました。
子ども無保険に関する請願書について請願人を参考人として招致し、審査を行った結果、採択すべきと決しました。
市立図書館の運営や市が進める学校再編計画について調査しました。

6月18日(木) 産業建設委員会

- 付託された2議案について審査を行った結果、いずれも可決すべきと決しました。
公共下水道事業について、市が実施した住民説明会のアンケート集計結果などを調査しました。

6月22日(月) 第二回定例会閉会

- 各常任委員長の報告を受け、採決の結果、6議案を可決しました。また、請願2件のうち、1件を採択し、1件を不採択としました。

第二回定例会の提出議案と議決結果について

Table with 3 columns: 議案番号, 案, 議決結果. Contains details for 15 items including budget amendments and public works.

請願の処理

Table with 3 columns: 請願番号, 案, 議決結果. Contains details for 2 items regarding child insurance and JR non-adoption.

第1回臨時会 (5月29日)

Table with 3 columns: 議案番号, 案, 議決結果. Contains details for 5 items including budget amendments and council member compensation.

市議会議員の期末手当引き下げを決定

急激な景気悪化により、人事院は国家公務員の夏季期末・勤勉手当を臨時減額するよう政府等に対して勧告し、徳島県人事委員会に

おいても同様の勧告がなされました。これを受けて、市職員の夏季期末・勤勉手当について0.2月分の額の支給を凍結するとともに、市議会議員の期末手当について0.15月分を引き下げる内容の議案が提出され、可決しました。

第2回臨時会 (7月29日)

Table with 3 columns: 議案番号, 案, 議決結果. Contains details for 6 items including budget amendments and disaster relief.

国の経済危機対策を活用した市補正予算が成立

徳島地裁による和解勧告について議決

国の経済危機対策として措置された「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」「疾病予防対策事業等補助金」を活用し、市補正予算が

成立しました。議会では、小・中学校施設や消防庁舎の耐震化推進事業など、補正予算に係る16事業の内容、財源の内訳などについて審査を行いました。また、市クリーンセンターの建設地から見つけた廃棄物の撤去費用にかかる損害賠償請求事件について、徳島地方裁判所による勧告に基づき、訴訟上の和解について議決しました。

代表質問

記事については、各議員が質問内容より抽出し、執筆しております。

市長の政治姿勢について、 教育行政について

かがみ 輝 宮崎 光明

【問】国の経済危機対策のための多額の補助金、交付金等の有効活用をどのように考えているのか？

【答】本市における「緊急雇用対策事業」を行うための補正予算を今議会中にも提出するほか、「経済活性化・経済危機対策臨時交付金」約二億九千



大森中学校

万円については、公共施設の耐震化を始めとした安全・安心対策、少子高齢化対策などの対象事業を検討しています。

【問】幼・小・中学校の校舎耐震化の現状と取り組みは？

【答】昨年度予算措置をした林崎小学校、里浦小学校の耐震診断は完了し、年内にも耐震補強工事に着手するほか、大森中学校改築の基本設計は完了し、現在実施設計を行っています。また、今年度の予算措置によって耐震診断を要する小・中学校全ての診断が完了します。

耐震化を要する幼・小・中の建物百十九棟について、平成二十七年を耐震化完了のめどとしています。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
活力とにぎわいあふれる
鳴門づくりについて、
競艇事業について、
教育行政について

かると 郷土 東 正昇



撫養港で進められている護岸工事

【問】活力とにぎわいあふれる鳴門づくりと都市計画について、夢とロマンのある本物のまちづくりには、昔の都市計画の考え方は捨てて、総合性のあるドミナント(面)構想がベースになると考えますが、今後の都市計画についての考えをお聞かせください。

【答】平成四十二年を目標年次として、二カ年の予定で鳴門市都市計画マスタープランを見直します。都市計画提案制度などを活用し、自主的なまちづくりの実現を目指したい。

【問】競艇事業の存続に向け、撫養港護岸工事と並行した施設の耐震化、改善が必要と思

うが、鳴門競艇のあり方に関する検討会議の設置について伺いたい。

【答】検討会議については、外部の有識者を含む委員を選任し、発足に向け準備中です。

この検討会議では、施設を始め事業運営のあり方などさまざまな課題を検討することになっていきます。

【問】新教育長の方針と現状の課題について伺いたい。

【答】学校にはいじめ、不登校、学力低下などさまざまな教育的課題を抱えています。保護者や地域の方々との連携を図り、創意工夫を凝らしながら保護者に信頼される開かれた学校づくりを推進することが重要であると考えます。

農林水産行政について、 競艇事業について

新みらい 林 勝義

【問】漁業経営の安定に向けた振興策と鳥獣被害について伺いたい。

【答】掃海事業や広域型の藻場造成などによる漁場環境の改善や稚魚、稚貝の放流による

漁獲量の安定確保策を実施してきました。さらに、鳴門わかめ、鳴門鯛のブランド品に次ぐ水産物ブランド化の推進と販路拡大に取り組みます。平成二十年度の鳥獣捕獲数は、イノシシ八十八頭、猿四十八頭、カラス百一羽などであり、今後も計画的に電気さくや捕獲おりを設置します。

【問】競艇事業について伺いたい。

【答】平成二十年度の純利益一億二千四百七十九万円の要因については、隔年開催となっている四国地区選手権競走などにより舟券売上金が三・一％増加したことが大き



鳥獣被害防止電気さく

な要因です。また競艇名人戦の舟券売上金は七十二億二千四百十八万四千五百円で、当初予定していた利益をおおむね確保することができました。

公共下水道事業について

◆ ◆ ◆ ◆ ◆
 優志会 桐原 幸告

【問】環境を守るために有益な施設であっても、市民の家計の許せる範囲で協力することが基本になる。板野町や松茂町と比較すると鳴門市の上水道と下水道を合算した使用料は高いが、下水道使用料につ

市が定めた下水道料金表 (税別)

区分	使用水量	使用料	
一般汚水	基本料金 (1か月につき) 480 円		
	従量料金 (1m ³ につき)	10m ³ 以下	190 円
		10m ³ 超え 20m ³ 以下	200 円
		20m ³ 超え 30m ³ 以下	210 円
		30m ³ 超え 50m ³ 以下	220 円
		50m ³ 超えるもの	230 円

いてどのように考えるのか。

【答】下水道使用料については維持管理費の全額及び使用料対象資本費の一部を使用料で回収することを基本に、国からの有利な財政措置を受けるために一立方メートルあたり百九十八円以上が望ましいことと、さらに五十年にわたる財政シミュレーションにより長期的な財政負担の平準化を図ることで個人の負担の軽減に努めたものであり、新たなご負担をお願いすることになります。現時点で最善の単価設定を行ったと考えています。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

公共下水道使用料等の見直しについて

公明党 山本 秀

【問】鳴門市下水道条例を制定をした際、委員会の付帯決議として使用料などの見直しを要望したが、一立方メートル当り二百三十円は水道料のほぼ倍額であり、市民にとって大きな負担である。国からの有利な財政措置を受けられる限度額百九十八円に使用料を



個人質問

消防行政について、定額給付金について、文化交流について

佐藤 絹子

【問】住宅用火災警報器の設置状況と取り組みについて。

【答】建設時に設置が義務づけられている平成十八年六月一日以後の新築住宅は六百十一件で全世帯の二・四％。平成二十三年五月三十一日までに設置が義務づけられている既存住宅の設置状況は把握していませんが、鳴門市婦人防火クラブ等を通じて現在四百五十個設置されています。防火・防災意識の高揚とともに設置の義務化のPR、普及啓発を

改定すべきではないのか。
 【答】下水道使用料については、受益者負担金等審議会の答申に基づき、また国からの有利な財政措置を受けるため、さらに五十年にわたる財政シミュレーションにより、現時点で最善の単価設定を行ったと考えています。

【問】耕作放棄地対策等を盛り込んだ農地法改正に伴い、鳴門市の今後の施策は？

【答】農地貸し付けのあっせんや、農業パトロールの強化による耕作放置対策などの具体策を講じ、農業担い手の育成確保に努め本市農業の振興につなげていきたい。



住宅用火災警報器

図っていただきます。

【問】定額給付金の給付状況について。

【答】六月八日までに対象世帯のうち、約八十九％への振り込みを終えました。すべての方々への給付に向け取り組みます。

【問】文化交流事業の今後の取り組みについて。

【答】ドイツ・リユーネブルク市、中国・青島市、桐生市、会津若松市、旧上野村と長年にわたり交流しており、交流を通じて本市の活性化につなげたい。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆

公共下水道事業の推進について

泉 理彦

【問】十年後の水洗化率九十九・五％が仮に四十九・七五％になった場合、下水道事業計画や財政健全化計画、また行政サービスに影響はないのか。

【答】仮に水洗化率が半分となった場合でも、影響額は十年間で約二億円であり、諸計画や行政サービスに影響はな



いと考えます。

【問】生活保護受給者やそれに準ずる世帯への対応は。

【答】生活保護受給者には、条例に基づく免除制度を適用します。高齢低所得者等には一定の条件下において受益者負担金徴収猶予制度を設けています。

【問】第二期事業が二〜三年遅れた場合の影響は。

【答】財政面においては、計画よりも下水道使用料が一部減収となりますが大きな影響はありません。また、国庫補助金についても、事業着手の遅延を理由とした影響はありません。

下水道事業

平和行政について

田淵 豊



県発行の平和啓発ポスター

【問】住民不在で始まった下水道事業は、二期工事においてはその反省の上に立って下水道ありき、接続ありきではない手法で進めるべき。

【答】今後の事業推進にあたりまして、市民の皆様の御理解を得られるように努めてまいります。

【問】全国で毎年九千億円超の赤字を出す本事業。本市の損益分岐点は。

【答】供用開始したばかりで短期的に損益分岐点の概念をあてはめることは、非常に困難です。一般会計からの負担を増大させないためにも普及を促進していく必要があると考えています。

【問】合併浄化槽設置者には、国の動向を見て、接続を急ぐな。

【答】合併浄化槽設置者には、身体・財産を守るため避難や救援等の基本的な枠組みを示すもので、今後計画の趣旨を周知徹底させ、訓練の実施を検討してまいります。

【答】当法案は廃案になっています。

【問】市中心部の生活排水による汚染対策は。

【答】生活排水対策推進計画に沿って進めてまいります。

【問】平和行政について。四月五日、プラハでのオバマ演説は、被爆国日本に大きな感動をもたらした。今こそ、本市の「非核平和都市宣言」にふさわしい施策の実施を。

【答】広報、ケーブルテレビ等により市民に周知を図りたい。

安全・安心対策について

安全・安心対策について

秋岡 芳郎

【問】武力攻撃事態等に対処するための鳴門市国民保護計画の意義と体制づくりを問う。

【答】有事の際、市民の生命・身体・財産を守るため避難や救援等の基本的な枠組みを示すもので、今後計画の趣旨を周知徹底させ、訓練の実施を検討してまいります。

【問】防災情報・通信体制についての今後の方針を問う。

【答】全国瞬時警報システム（J-ALERT）やヘリコプター伝送システム、メールによる防災情報システム及び緊急地震速報システム等効率的な整備を検討します。

【問】昨年配布した防災ハザードマップの活用状況を問う。



鳴門市国民保護計画

【答】地域で発生する災害を地図上で理解でき、防災への関心を深め、良い意味での危機感を持ってもらい、非常持出袋や災害備蓄品のチェックに役立つと考えます。

【問】地方版グリーン・ニューディール政策について、女性特有のがん検診推進事業について

地方版グリーン・ニューディール政策について、女性特有のがん検診推進事業について

【問】地方版グリーン・ニューディール政策について、女性特有のがん検診推進事業について

【問】地方版グリーン・ニューディール政策について、女性特有のがん検診推進事業について

【問】地方版グリーン・ニューディール政策について、女性特有のがん検診推進事業について

【問】地方版グリーン・ニューディール政策について、女性特有のがん検診推進事業について

【問】地方版グリーン・ニューディール政策について、女性特有のがん検診推進事業について



太陽光発電パネル

【問】地方版グリーン・ニューディールについて、太陽光発電と環境分野にビジネスの枠を広げる経済対策について。①家庭向け太陽光発電システムの設置補助制度が設けられており、国と自治体の補助を合せれば設置費用を大きく軽減することが可能になるが、本市の補助制度についての考えについて伺いたい。②鳴門市の限られた財源の中で直面する環境問題と経済危機に同時に対処できるグリーン・ニューディール政策についてどのように考えているのか伺いたい。

【答】①国の制度のPRに努め本市独自の補助制度は財政状況を勘案しながら調査研究し

てまいりたい。②国や県の動向をみながら調査研究を進めてまいります。

幼稚園教育について、農業行政について

大石美智子

幼稚園入園後の給食開始がなぜ遅いのか。預かり保育の土曜日は数園のみの実施。振り替え休日も保育なしなど、保護者から改善の要望があるが？



継続的就労が可能な預かり保育の充実と保護者のニーズを十分考慮し、これからも検討して欲しいと思います。

給食開始は今年度から入園後一週間後とし、これ以上の短縮は難しい状況です。土曜保育利用数は約三八%であり現在は四園の開設で対応が行われております。

農業整備の厳しい現状の中、農地・水・環境保全向上対策事業は大きな役割を果たしているが、今後の展開は？

当事業は農業振興だけでなくさまざまな地域活性化にも大きな役割を果たしており、各活動団体の方々とともに国に対して事業制度の継続を要望してまいりたい。

小規模就農者への融資制度と高齢者の救急時の支援事業について

川田 達司

新規就農者及び小規模就農者への鳴門市独自の融資制度の設立について伺いたい。

市独自の小規模就農者融資制度の設立は小規模な農業者を支援し、鳴門市の農業に



携わる人材を幅広く育成確保する観点からも有効な施策であり、今後地域の特性や実状に対応した農業分野の振興策を図る中で、小規模就農者への融資制度設立を視野に入れ検討してまいりたい。

高齢者が安心できる救急時の新たな支援事業として、「救急医療情報キット」の活用について伺いたい。

ひとり暮らし高齢者が増加する中、緊急時の初期対応に救急医療情報キット配付事業は大変有益なものであり、これまで実施した施策の課題を検証し、全市的に展開できるか検討の上、さらなる高齢者福祉サービスの向上に努めてまいります。

視察報告 総務委員会

岩手県盛岡市(5月21日) 「指定管理者導入施設に対する第三者評価の実施」 青森県八戸市(5月22日) 「地域担当職員制度」

盛岡市では鳴門市と同じく平成十八年度から指定管理者制度を本格導入しましたが、指定管理者の業務内容が要求された水準を満たしているのかを客観的に評価するモニタリング調査が必要であるとの考えから、第三者による評価事業を行っていました。

第三者評価の方法としては、まず評価者の選定を公募により行い、指定管理者や市の担当者による自己評価、評価者によるヒアリング、利用者によるアンケート調査により評価を実施しています。評価結果を市のホームページに掲載するほか、評価者と指定管理者が評価の結果について意見交換する「評価審査報告会」を公開で開催するなどの創意工夫が見られました。

鳴門市においても指定管理者による業務が適正に実施されているのかというチェック機能

を果たすために、盛岡市のような手法を活用することが期待されます。

八戸市では、行政と住民による「協働」のまちづくりの基本理念を定めた「協働のまちづくり基本条例」(自治基本条例)が定められています。また、具体的なまちづくりの内容を示した「地域コミュニティ振興指針」「市民活動促進指針」が市民主導により策定されていました。

「地域担当職員制度」はそれらの指針に基づき、地域の現状と行政施策の双方に精通した市職員を、地域担当職員として二十二地区公民館にそれぞれ一〜二名派遣し、地域づくり支援や広聴窓口を充実さ



岩手県盛岡市にて

せるものです。

「地域づくり会議」は、住民が地域の課題や地域づくりについて話し合う場を創出し、地域づくり活動促進のきっかけ作りを行う会議でした。

地方分権が進められている現在、鳴門市においても住民が積極的にまちづくりに参画できる環境を整えることが大きな課題です。

視察報告
教育民生委員会

福岡県太宰府市(7月2日)

「太宰府市文化財保存活用計画」について

長崎県佐世保市(7月3日)
「食育」について(NPO法人「大地といのちの会」と共に取り組む耕作していない農地を活用した無農薬の野菜作りについて)

大宰府市は、大宰府天満宮をはじめ多くの文化遺産群を保有しているものの、住宅地としての開発ニーズが極めて高く、その保存・保護が年々困難な状況となってきたことから、時空間的に単体として存在しているかのように見える文化遺産群を見つめ直し、今の姿に繋がる経緯を記録し、育てていくことを目的として文化財保存活用計画が策

定されていました。

大宰府市では、市民が主体となり、多くの人々が積極的に文化遺産に関わっていき、地域と一体になって取り組んでいくとする考え方から、学校の中でも総合的学習の時間に、出前講座として、市の職員が大宰府の歴史を教えたり、発掘調査も取り入れているとのことでありました。鳴門市の文化遺産を保存・活用していくための参考となる視察でした。

佐世保市は、食育に力を入れており、食育推進計画が平成十八年に策定されていました。佐世保市の食育推進計画は、一人ひとりの「食」に関する関心を高め、生き生きと生



福岡県太宰府市にて

活できる豊かな暮らしを実現するために策定されたものでありました。

行政、市民、教育関係者、農業・漁業者、市民団体などが各々の立場でお互いに協力しながら、食育を展開していくことが求められており、市が一体となって、食育を推進していました。

また、この行政視察では、佐世保市と協働し、食育を推進しているNPO法人「大地といのちの会」代表である吉田俊道氏から生ごみで土作りをし、無農薬で育てた「元気野菜」の普及を進め、食を正すことよって病気を退散させるという活動と取り組みを伺いました。

今後、鳴門市において、是非とも取り組んでいきたい施策でありました。この視察では、鳴門市との状況等を比較しての質疑や今後の事業の進め方など様々な意見が出されました。

視察報告
産業建設委員会

岩手県北上市(7月16日)

「農業サポーター養成講座」(きたかみ農業校)

福島県福島市(7月17日)

「まちづくりアドバイザー制度」 「ふくしま観光圏整備事業」

北上市は、米作を中心とした農業地として発展してきましたが、後継者不足と米価の価格変動で農業経営の困難に直面しています。さらに農業者の高齢化が進み、高齢者の新しい働き方や雇用を創出する必要に迫られていました。

農業サポーター養成講座は、地域農業を支える理解者・協力者(農業サポーター)の養成を目的に平成十七年度から開講し、農業に関心のある市民ら延べ六十四人が受講しています。養成講座を通して、農産物の生産過程に応じた農業者の労働力不足を解消させ、新規の農業従事者に必要な技術を取得させています。国の農業政策の大きな方向転換が予測される現在、高齢化社会における雇用と農業者の労働力不足を相互に補完する事業として参考になりました。

福島市のまちづくりアドバイザー制度は、市民の手による地域まちづくり計画を作成するために、まちづくりに必要なアドバイザーによる人的支援を行うものです。地区ごとのま



岩手県北上市にて

ちづくり計画や土地利用計画、市街地整備計画に対する市民の関心度を高めるほか、行政が二方的に事業を進めるのではなく、市民の主体性を尊重した市民参画型のまちづくりに効果が期待できます。

ふくしま観光圏整備事業は、国の制度を利用した高齢者や障害者に優しい観光圏の提供をコンセプトにしています。しかし、観光施設のバリアフリー化などの施設整備ではなく、人的なバリアフリー化により対応するソフト事業にその特徴があります。観光圏整備として、鳴門市の観光行政に活力を与える参考事例になりました。

第三回定例会日程（予定）

第三回定例会は、9月4日に開会し、会期は9月25日までの22日間の予定です。

9月4日（金）第三回定例会開会・予算決算委員会

一般質問通告締切

5日（土）休会

6日（日）休会

7日（月）休会

8日（火）休会 予算決算委員会全体質疑
（特別質疑）通告締切

議会運営委員会

9日（水）一般質問

10日（木）一般質問

11日（金）一般質問

12日（土）休会

13日（日）休会

14日（月）休会 予算決算委員会

15日（火）休会 総務委員会

16日（水）休会 教育民生委員会

17日（木）休会 産業建設委員会

18日（金）休会 予算決算委員会

第一分科会／第二分科会

19日（土）休会

23日（水）休会

24日（木）休会 予算決算委員会

25日（金）第三回定例会閉会

※各委員会の日程は9月2日の正副委員長会で決定します。
※太字についてはインターネット中継を実施します。

吉田忠志 鳴門市長ご逝去



登壇する吉田市長（平成20年 第4回定例会）

去る8月22日、急逝されました。ご生前の功績をたたえとともに謹んでご冥福をお祈りいたします。

インターネット中継をご覧いただくには

- 1 鳴門市ホームページを開く
- 2 『市議会』をクリック
- 3 『鳴門市議会映像配信』をクリック



ここをクリック!!



インターネット中継



あ
と
が
き

「議会だより」は、市民の皆様と議会との意思交流を図り、議会の機能をより一層発揮させ、議会活動の理解と関心を得るため発行いたしております。

今後とも市民の皆様に一層親しまれる紙面作りを目指し努力いたしたいと思っておりますので、皆様のご意見・ご要望をぜひお寄せください。

☎684-1234

議会だより編集委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 横井 茂樹 |
| 副委員長 | 桐原 幸告 |
| 委員 | 宮崎 光明 |
| 委員 | 林 勝義 |
| 委員 | 東谷 伸治 |
| 委員 | 山本 秀 |
| 委員 | 大石美智子 |